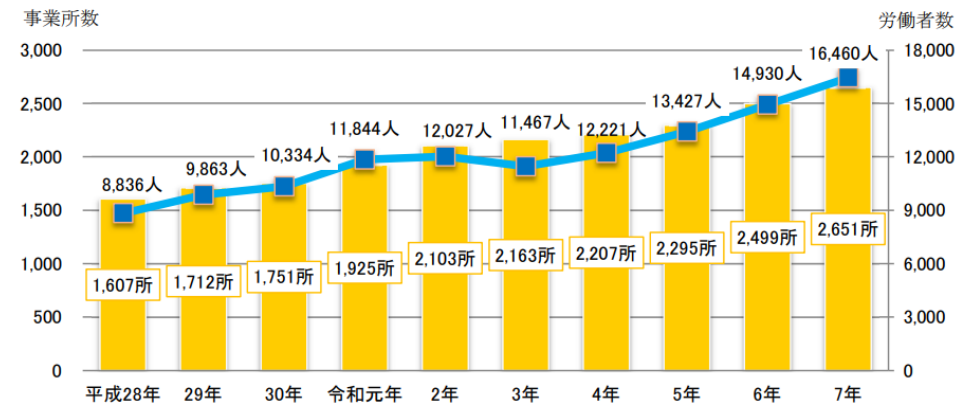


富山県の「外国人雇用状況」の 届出状況まとめ（令和7年10月末現在）

2026.01.30

富山県内の外国人労働者は1万6,460人となり、前年より1,530人、10.2%増えて過去最多を更新した。
外国人を雇用する事業所も6.1%増の2,651所で過去最多となった。
国籍別ではベトナム4,708人、インドネシア3,032人、中国2,156人、フィリピン2,117人の順である。
技能実習は6,888人で外国人労働者全体の41.8%を占めた。
。専門的・技術的分野は前年比27.2%増の4,303人だった。
技能実習が最大区分である一方、特定技能などを含む専門的・技術的分野への移行も進んでいる。

図1 外国人雇用事業所数・外国人労働者数の推移



技能実習から地域の一員へ ベトナム人女性と富山の家族の交流

2026.02.15

ベトナム出身のディン・ティ・キム・チーさんは、約7年前に技能実習生として来日し、滑川市のベアリング工場で働いている。

機械への部品投入、自動加工後の測定などを担当する。来日前には送り出し費用として約40万円の借金を負ったが、来日後に返済したと語った。

富山を選んだ理由の一つは、地震が少ないと聞いたことだった。

地域交流会で知り合った日本人夫妻の家庭に招かれ、正月を日本料理とベトナム料理で共に祝う関係が続いている。

外国人労働者の地域定着には、職場外の住民交流も重要であることを伝えた記事である。



出典：富山テレビ／FNNプライムオンライン <https://www.fnn.jp/articles/-/1002107?display=full>

令和8年度外国人技能実習生等 随時技能検定の案内

2026.03.02

富山県は、技能実習生が実習段階に応じて受検する随時技能検定について、2026年度の案内を掲載した。

対象となるのは基礎級、随時3級、随時2級などの試験である。

技能実習制度では、所定の技能評価試験への合格が次の実習段階への移行要件となる場合がある。

受検申請や実施日程に関する問い合わせは、富山県職業能力開発協会が受け付ける。

県は職種、作業、試験区分に応じた手続きの確認を求めている。

制度変更期においても、現行の技能実習生の技能評価を継続するための行政案内である。



技能検定 | 富山県職業能力開発協会

出典：富山県

<https://www.pref.toyama.jp/1303/sangyou/roudou/roudoukoyou/ginoukentei/2026/zuiji.html>

外国人による犯罪244件、115人を摘発 技能実習生が在留資格別で最多

2026.04.03

富山県警がまとめた2025年の外国人犯罪は244件で、摘発人数は115人となり、件数・人数とも前年を上回った。

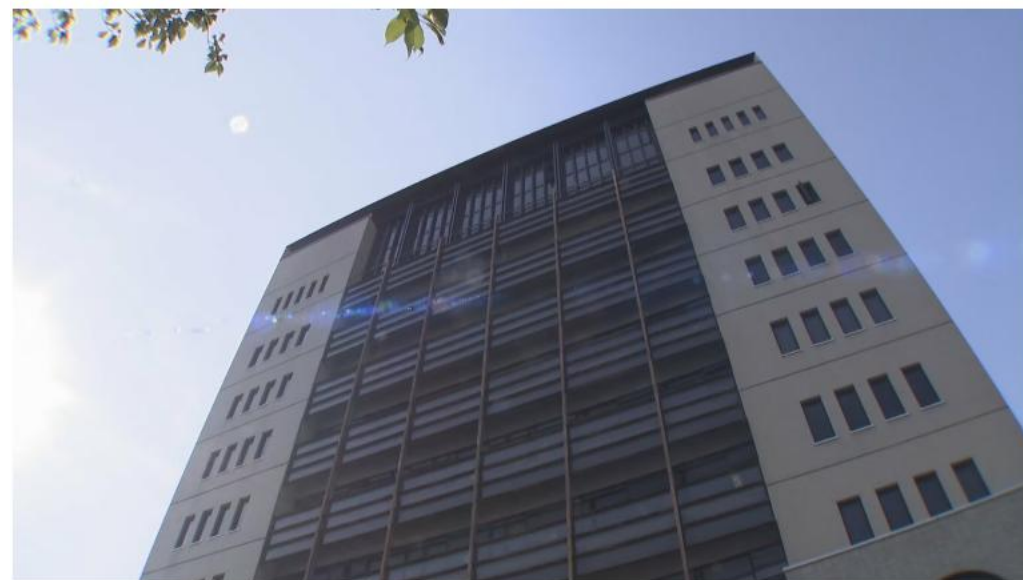
国籍別ではベトナム人、在留資格別では技能実習生の摘発が最も多かったと報じられた。

罪種では窃盗が全体のおよそ8割を占めた。

これは摘発統計であり、県内の技能実習生全体の状況を示すものではない点に注意が必要である。

生活困窮、孤立、犯罪組織からの勧誘など、個別事件の背景は公開部分では確認できなかった。

記事本文の閲覧範囲が限られていたため、見出しと公開された数字のみを要約した。



国籍別では、最も多いのはベトナム国籍が44人（約38%）でした。在留資格別では、技能実習が28人（約24%）と最も多くなっています。

令和8年1月1日現在の 富山県内外国人住民数

2026.04.13

富山県内の外国人住民は2万5,714人となり、前年より1,929人、8.1%増えて4年連続で過去最多を更新した。県人口に占める割合は2.6%で、国籍・地域は108に及ぶ。

技能実習は前年より161人減の6,385人だった一方、特定技能は1,011人増の3,436人となった。

技術・人文知識・国際業務も270人増の2,068人だった。ベトナム人は5,836人で、このうち技能実習が2,668人を占めた。

インドネシア人は3,297人で、技能実習生が2,153人に達するなど、国籍・在留資格構成の変化が示された。

官（自治体等）

（関連画像 準備中）

出典：富山県

<https://www.pref.toyama.jp/140611/kurashi/kyousei/kokusai/2026gaikokujinjuuminsuu.html>

富山県外国人材活躍・ 多文化共生推進事業費補助金

2026.04.17

富山県は、外国人材の採用、職場定着、地域交流を支援する県内事業者向け補助制度を公表した。

入国前の日本語・生活研修や渡航支援は経費の2分の1を補助し、上限は高度人材50万円、技能実習生40万円とした。

入国後の日本語研修には上限15万円を設けた。

業務マニュアル作成や職場研修などの定着支援は上限30万円、地域住民との交流事業は上限20万円である。

社員寮の改修や外国人材の紹介に関する支援メニューも用意した。

採用段階から生活、職場、地域との関係づくりまでを一体的に支援する制度となっている。

官（自治体等）

（関連画像 準備中）

出典：富山県

<https://www.pref.toyama.jp/140631/gaikokujinzai/teicyakuhojyokin.html>

路上で震える2歳児を保護 フィリピン人技能実習生2人に感謝状

2026.04.23

砺波市石丸で4月1日午前6時10分ごろ、フィリピン人技能実習生2人が雨の中を一人で歩く2歳の男児を発見した。

2人はディノ・マイラ・デロス・サントスさんとカイガイ・ジェシカ・フェレラさんで、自転車で勤務先へ向かう途中だった。

男児は薄着で震えていたため、2人は安全な場所で保護した。

近隣住民に110番通報を依頼し、警察官が到着するまで付き添った。

男児は無事に母親と再会した。

地域の安全に貢献した行動として、2人に警察から感謝状が贈られた。

その他
(関連画像 準備中)

ベトナム人技能実習生が土砂に埋まり死亡 建設会社と現場責任者を書類送検

2026.06.16

南砺市の農道工事現場で2025年3月、ベトナム人技能実習生の男性が崩れた土砂に埋まり死亡した事故について、労働基準監督署の捜査結果が報じられた。
死亡した男性は37歳で、用水管を敷設するために掘削した溝の中で作業していた。
砺波労働基準監督署は、施工会社の森組と60代の現場責任者を書類送検した。
作業前に地山の状態を点検せず、土砂崩壊を防ぐ措置も十分に講じなかった疑いがある。
適用法令は労働安全衛生法である。
外国人実習生を含む建設現場の安全管理と、危険作業時の指導体制が問われた事案である。

その他
(関連画像 準備中)